

『え……？』

『お、起きたかな』

『よおし、もう一発
射精るよお』

「ロオ……」

『え……？は……？
てかくつさ……』

ひゅる……

『おッイグッ!!』

『やッちよッ
待ってなにこれッ!!』

『え……なに……』

『ごめんね、シ○ンちゃん起きるまで、
待ってようと思ったんだけど、おじさん我慢できなくてね
3回もお顔におじさん汁漏らしちゃったよ♥』

『え……ちょ……なに
どういう事これ』

『ほら、おちんちんだよ
見たことあるかな?』

『は……? いや、え、
きもいきもいきもいきも
近づかないでッ!!』

ぬる

『ごめんねえ、体動かないでしょう
ちよつとお薬使ってるからねー』

はあー

『え、ほんっ…うごかなっ
ヤダッ…ヤダコワイ!!』

『大丈夫落ち着いてー
怖いのは最初だけだよ
すぐにおちんちんの事しか考えられない
おちんちんばかりにしてあげるからね』

はあー

『ほぅーら
はいるはいるう♡
きつついなあ』

『痛ッ抜いてええッ!!』

ぬる

『くぅこのキツさ……
やっぱり初モノはちんこにひびくわ』

『抜けっつってんだろ!!』

『ああ!! シ○ンちゃんのぷにまん小さすぎて
せっかく入れてもすぐに押し戻されちゃうよ』

『うっさいッ!!
さっさと抜けっつってんだろおっさん!!』

『きもいんだよッバカッ!!』

『んん〜ほんとに
クチの悪いガキだなあ』

『今度は少し違う
お薬で一瞬でとばしてあげようね』

しゅん♡



『あ♡ あっ♡
ばかあ♡ きもちい♡
あかちゃんのおへやとんとん♡
きもちッ♡』

『うんうん！素直が一番だよ
すぐにママにしてあげるからねえ
ママになるまで壊れちゃだめだよ』

『シ〇ンの中に♡ 中にい♡
ピュッピュッて♡
いっぱいピュッピュッてして♡』

『あぁ〜かわいい♡
金玉の中身全部射精ちやいそう
シ〇ンちゃん♡ 今たくさん飲ませてあげるからね』





『おうふ♡
射精した射精したあ♡』

『んおッ♡
めめくれうッ♡』

ビクンッ♡

ぼるん♡

『んほおッ!!♡』

『さあて、まだまだ射精し足りないから
どんどんいこう♡
ひとり産んだらすぐに二人目、3人目
産まれた子供たちともセックスしようね♡』

『楽しみだなあ♡
これから忙しくなるぞお♡』

どぽお...♡



「ほらし〇ンちゃん、体も動けるようになったことだし、第2ラウンドといこう」

「ハハハ、こうなったらもう
ただのマスコ豚だな
かわいいかわいい」

『はっ♡ はっ♡
ちんぽ♡ すき♡
いっぱい♡』

「そうそう、ちやんとご主人さまの
目を見て先っぽ
ちゅーちゅーするんだ」

『はいっ♡』

むちゅ♡

ちゅ♡
ちゅ♡

「ああーいいよお
丁寧丁寧に愛情込めて
しこしこしなさい」

「ふうーこれから毎日この
くちマシコ使えるって思うと
たぎるわ」

「あああああ射精るっ
吸って吸ってっ
今そのちっちゃいお口にぶちまけて
あげるからねっ」

「そんなもののほしそうな顔してっ
いっぱいあげるから
たくさんごっくんするんだよ」

「ほらっ大きく口開けて
全部飲みなさいっ」

「おふーっ
きもちいいーッ
まだまだあるから安心しなさい」

『まだ飲み足りないのか
ガキのくせになんてエロい顔しやがる』

『まらまら射精う?♡』

『当たり前だよシ○ンちゃん
今度は喉でしごいてもらおうかね』

『フンッ!! フンッ!!
下品なマンコ顔しやがって!!
そんなにちんぽが好きかッ』

『金玉フル回転で
子種つくっとるわヨ!』

『もう我慢できねえ
子宮に子種仕込んでやるから
ケツむけるッ』

それから3時間が経過した――



とつくに薬の効果時間は切れていたが
快楽の欲求には勝てなかった





そしてこの生活が
半年続いた――

『ほら〇〇〇〇配信はじまってるよ』



『みんなごめんね
ちんぽしゃぶるのに夢中みたいだ
このまま交尾垂れ流しておくから
好きにズリネタにでもしてね』